

「被災歴史的建造物の調査・修復・活用の実例について」

参考:「被災歴史的建造物の調査・復旧の対応マニュアル」(公社)日本建築士会連合会発行
・・・当日は持参不要ですが、あればより分かりやすいかもしれません。

開催日: 2019年7月5日(金)
受付 17:45 講座 18:15~20:15
会場: 横浜市開港記念会館 9号室

■講師: **兼弘 彰**・株式会社ユー・エス・シー代表取締役

■2018年度文化庁主催登録有形文化財に関する講座担当講師

●講座第1回目では連合会のマニュアルのご紹介と広域連携の重要性についてお話いたしました。

講座第2回目では、実際に東日本大震災後、気仙沼市において数件の伝統的建造物を復旧した貴重な事例について、兼弘彰氏に詳細にご説明・ご報告いただきます。

横浜市中区でご活躍の兼弘氏が、気仙沼に関わるようになったきっかけ、民間所有の建物ばかりで、工事資金はどのように捻出したのか?調査や修復工事の手法・材料や工夫、苦勞した点など、興味は尽きません。また、修復は現在も続いており、最新の事例では、4/1に適用除外申請の許可が下りた「男山本店店舗」があります。

こちらの事例は、従来分りにくかった適用除外について、分かりやすくまとめられた「条令整備ガイドライン」に沿って審査されたものです。

質問時間もたっぷりお取りする予定です。本講座は災害などの非常時はもちろん、平常時の伝統的建造物の調査・修理などにも必ずお役に立つ内容となっています。伝統的建造物を取り巻くきびしい現実に立ち向かう一助となれば幸いです。

■定員: 45名 (申込締切: 7/3、定員となった場合はお知らせします。)

■受講料: (注: 前回の講座とは区分が異なります。予めご了承願います。)

神奈川県建築士会、かながわヘリテージマネージャー協会、JIA 神奈川県
会員: 1500円、会員外の方: 2000円

●講座資料代500円含む: 国交省、「歴史的建造物の活用に向けた条令整備ガイドライン(普及版)」、兼弘氏の修復複数事例詳細報告書(部分)等

◆角星店舗



◆武山米店店舗及び主屋



◆男山本店店舗



【参考】

●お申込み先● FAXまたはE-Mailで

(一社)神奈川県建築士会 〒231-0011 横浜市中区太田町 2-22(神奈川県建設会館5階)

●FAX: 045-201-0784

●E-Mail: scramble@kanagawa-kentikusikai.com

参加申込書(メールの場合は下記項目が分かるようにお書き下さい)

氏名: _____ ふりがな: _____

住所: _____

携帯番号(または電話番号): _____

FAX: _____ メールアドレス: _____

■会員区分:()に○を付けてください。()神奈川県建築士会会員

()かながわヘリマネ協会会員 ()JIA 神奈川県会員 ()会員外

CPD 番号: _____ (書かれた方のみ登録)

●対象者: 主に建築士の方が対象ですが、建物遺産やそれらを活かした街並みに興味と熱意のある方もどうぞ奮ってご参加ください!

●個人情報: 本講座の運営のみに使用します。

●講座風景の写真・アンケート結果の公開に関して、ご了解の上お申込くださるようお願い申し上げます。

●参加費: 当日 18:15 までにご来場の上、お支払いください。

●欠席の場合: 7/3 までに FAX、またはメールにてご連絡願います。

●開港記念会館アクセス

住所: 神奈川県横浜市中央区本町 1-6

tel: 045-201-0708



駐車場はありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。

1. JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分(約700m)
2. 市営地下鉄線「関内駅」1番出口から徒歩10分(約700m)
3. みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分(約50m)

(一社)神奈川県建築士会 主催

後援予定: かながわヘリテージマネージャー協会、JIA 神奈川県

■内容についてのお問い合わせは、スクランブル調査隊まで
scramble@kanagawa-kentikusikai.com